令和8年度専門性向上研修計画(案):5月11日時点

目的

・演習を中心とし、すべての職員の基礎的な実践力の底上げに資する
・OJTの考え方に依拠し、研修そのものが通常業務を兼ねる
・本校職員が講師を務め、研究と修養、校内相談体制が日常化する仕掛けづくりに寄与すること

研修計画

	時期	主な内容	担当課	講師候補
第1回	5月19日 火曜日	【問題行動を防ぐための基礎知識】 ・事例から学ぶ他害防止:20分 →講師:山本課長(進路指導課長) ・機能分析:45分 →講師:白桃小学部長 ・行動契約法:45分 →講師:田中校長	ダイバー進路	田中校長 山本課長(進路指導課長) 白桃学部長
第2回	6月12日 金曜日	【予防的生徒指導の基礎理解】 ・圧のコントロール(ワーク) ・教師のあり方(ワーク) ・日常生活で活かすポジティブ行動支援(ワーク)	人権生徒指導	柳川教諭(マナアカ1期生) 髙橋教諭(マナアカ2期生) 管理職
第3回	7月10日 金曜日	【各学部での専門性向上】 ・小学部　自立活動(ケース会) ・中学部　(ケース会) ・高等部　(ケース会)	ダイバー	楠課長(マナアカ1期生) ダイバー課員
第4回	9月2日 火曜日	【個別の指導計画の作成力UP】 ・アセスメント(SM・ワーク) ・行動観察(ワーク) ・抽象具体分析(ワーク) ・課題分析(ワーク) ・記録用紙の作成(ワーク)	ダイバー 教務	楠課長(マナアカ1期生) 住友教諭(巡回相談員) 近藤教諭(マナアカ2期生)
第5回	9月〇日 〇曜日	【教育課程の基礎理解】 ・学習指導要領と教科教育(講義) ・本校教育課程の理解(ワーク) ・年間計画作成(ワーク) 一生活単元学習、自立活動	教務 ダイバー	多田課長 教務課員 楠課長(マナアカ1期生)

〇実施方法
・会場はランチルームを使用。ランチルームの半分程度を使用予定。
→座席によって、正面のプロジェクターが見えないこともある。正面のプロジェクター以外に大型テレビを各所に設置。
ビデオ又はiPadで撮影し、ZOOM配信(音声切断)する。(別紙:会場図参照)

・受付は学部毎に3カ所設置します。
→小:ランチルーム小学部エントランス前入り口、中:ランチルームトイレ前入り口、高:校長室前入り口

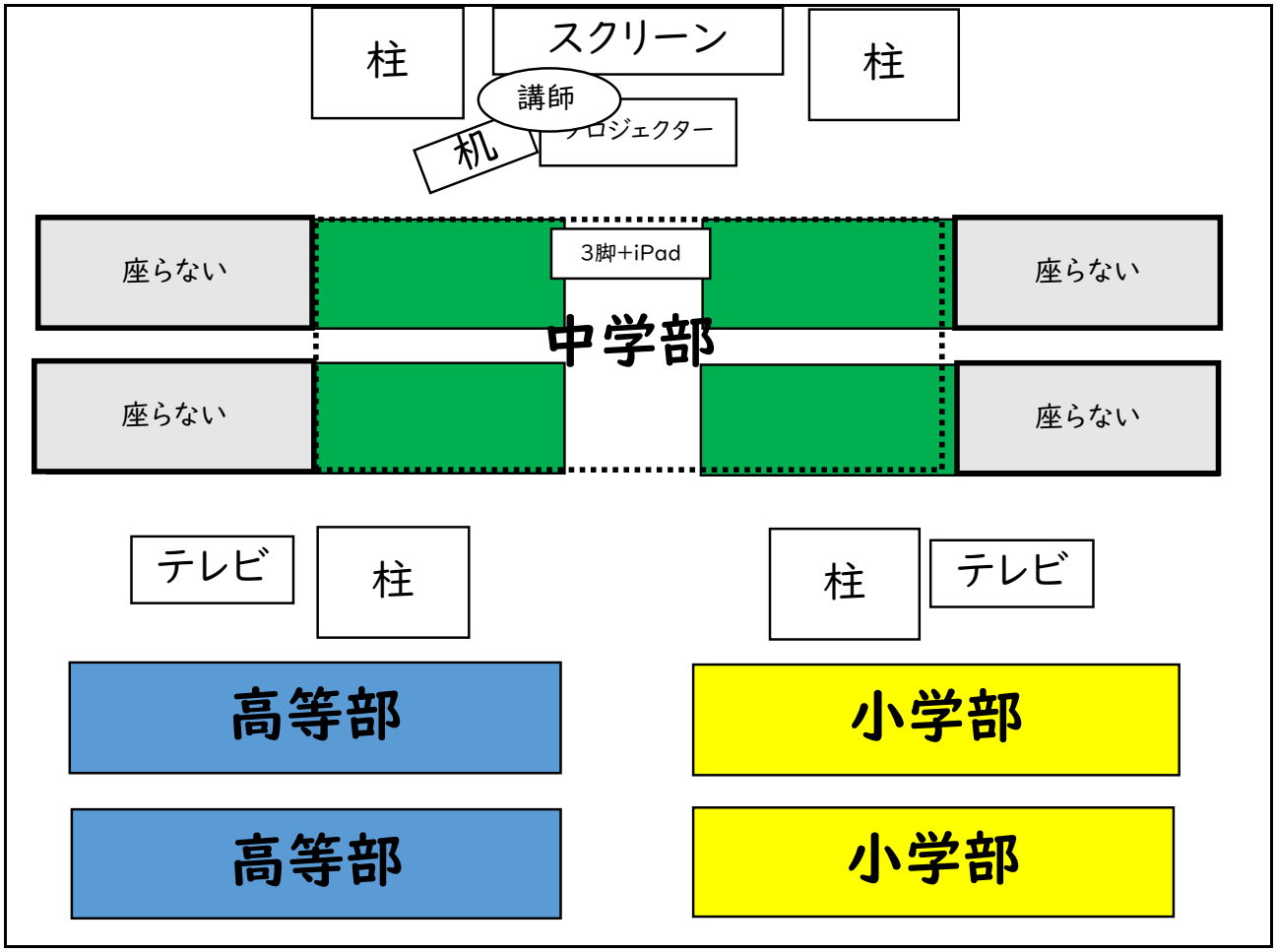
・配布資料は外部サーバにアップする。紙媒体の資料が必要な方のためにじょーるりに資料をアップする。

・演習に必要な資料は紙媒体で印刷する。

・研修時間→120分(14:00～16:00 休憩含む)。児童生徒下校時間13:30のため。
→ランチルームの使用は通常なら15:00以降のため、悉皆研修日に限定して、使用許可を食堂より得たい。

・研修参加者数:120～140名前後。

会場図：ランチルーム(後方半分)



保健室	保健室	相談室		事務室
	会議室		校長室	

〇準備物→【ダイバーシティ推進課:準備担当】
・大型テレビ×2(小学部遊戯ホールと大ホール用)、プロジェクター(小学部教材室)、スクリーン(2階小学部7組横教材置き場)→【小学部課員】

・マイクセット(多目的教室)、HDMIケーブル×1(情報教育課棚)→【中学部課員】

・長机×3(受付用3台:1階玄関又は2階体育館連絡通路)、三脚(職員室入り口横ダイバーシティ推進課ロッカー)、ドラムリール(ダイバーシティ推進課ロッカー)→【高等部課員】

・職員名簿、演習用配布資料→【楠・住友・吉田】

・パソコン→【久米】

エビデンスに基づいた 「指導方法」
～子どもたちが自発的に動ける「仕掛け作り」～

スモールステップで取り組む「行動契約法」

徳島県立国府支援学校
校長　田中　清章

1

1

「行動契約法」で学ぶこと

- 児童生徒が自分の思い通りにならない時に
- 泣いたり、他害をすることなく、
- 望ましい適切な行動を実行するために、
- 行動契約法の基本を学ぶ

例えば
- ■ 行動契約書の様式について
- ■ 目標を達成するために「さじ加減」
- ■ スモールステップで進めるための「コツ」

2

2

望ましい生活スキルを「行動契約法」で教える

「行動契約法」
- 子どもの行動を「マネジメント」するために、
  何をいつまでにするのかということと
  その結果を明記した契約書をかわす方法です。

  単純なルールが分かっている子どもの場合に
  応用できる方法です。

【推薦図書】「行動分析学入門」
杉山尚子、島宗理、佐藤方哉（著）（1998） 産業図書

3

3

効果的な行動契約の方法

①約束は視覚化する
②代わりにどうすればいいのかを明確にする。
③約束の時間を定める。
④達成したことを確認する。
⑤守れた場合のごほうびを決める
⑥守れない場合のペナルティを決める
⑦子どもの同意を得る

【推薦図書】「家庭で無理なくできる困った行動Q&A」
井上雅彦（編著）（2015） 学研教育出版

4

4

効果的な行動契約の方法

行　動　契　約　書

○目標：11時までにゲームをやめて、
　寝室のベッドに入る
○期間：9月1日～9月5日
○チェック：お父さん
○できたとき：3ポイント
○できなかったとき：－2ポイント
　＊10分オーバーまでなら朝食後の
　皿洗いで1ポイント回復できる。

○ごほうび：○○ポイントで、中古ソフトをゲット

署名　父　国府太朗　　本人　国府次郎

ポイント表

9月1日	9月2日	9月3日
○	○	○
9月4日	9月5日	合計
		点

中古ソフトゲット

指導が進んでから、取り入れること

【推薦図書】「家庭で無理なく楽しくできる生活・自立課題36」
井上雅彦（編著）（2011） 学研教育出版

5

5

セルフコントロールの力を育てるためのステップ

例：ひらがなを書く → 上手に書けたね（即時強化）
◆課題自体が好子となる方向へ

トークンシステム：望ましい行動の直後にポイントを与えて、それが一定数貯まれば、本人の好きな活動や好きな物を与える。

すぐに強化されなくても、**「待つ」、「将来に起こるいいことを予想して、今頑張る」という行動を選択できる**ようにすること。

【推薦図書】「家庭で無理なく楽しくできる生活・自立課題36」
井上雅彦（編著）（2011） 学研教育出版

6

6

○○さんの約束（行動契約書）

・お友達となかよくあそぶ（つねらない）
・弟となかよくする　（たたかない）
・学校から帰ったら、手をあらう

ねがいごと



○が		ねがいごと
19～21	→	3こ
16～18	→	2こ
11～ 15	→	1こ
0～ 10	→	0こ

	友達と仲良く	弟と仲良く	手を洗う
月	○	○	○
火	○	○	○
水	△	○	○
木	○	○	○
金	△	△	△
土	○	○	△
日	○	○	○

7

7

事例紹介

- 保護者の願い

「朝7時15分に、家を出てほしい。」

○小学校1年生（特別支援学級在籍）
○子どもが毎朝、乗車するバスに乗り遅れると学校や、母親の仕事にも間に合わないため、身支度を終えて、7時15分には家を出たい。

8

8

○○君の約束

母親の希望：朝7：15に家を出てほしい。

■宿題プリント1枚
■帰ってきたら「ただいま」と言う

スモールステップ



○が		ねがいごと
11～14	→	3こ
8～10	→	2こ
5～ 7	→	1こ
0～ 4	→	0こ

	宿題プリント1枚	「ただいま」
月	○	○
火	○	○
水	○	○
木	△	○
金	○	○
土	△	○
日	○	○

9

9

ポイント1　「スモールステップ」で進める

「スモールステップ」
必ず達成できる指導目標から始め
少しずつ難易度をあげていく

・今の時点でどれぐらい約束が守れるのか、守れないのかということを考慮する。
・最初は、それほど頑張らずに普段通りに過ごしていても10回中5回くらいは、「○（まる）」をもらうことができるように設定する。 → 「さじ加減」が大切。

【推薦図書】「自閉症のための明るい療育相談室」
奥田健次、小林重雄（著）（2009） 学苑社

10

10

ポイント1　「スモールステップ」で進める

「最初の目標」
■宿題プリント1枚、　■「ただいま」と言う

「スモールステップの目標」
・お風呂にお湯を入れる
・
・
・

成功体験
スモールステップで

「目指す最終目標」
■7時15分に家を出る

11

11

ポイント2　目指す最終目標を達成するために必要な行動を書き出してみる。

「次の日、学校に行くために必要な行動」
・夕食までに、宿題をする。
・
・

「朝6時に起きるために必要な行動」
・ゲーム機器を8時までに父に預ける
・
・

「目指す最終目標」
○7時15分に家を出る

12

12

演習1　スモールステップで最終目標に近づけるための目標を書き出しましょう。

1週目　〇

2週目　〇

3週目　〇

4週目　〇

5週目　〇

「目指す最終目標」：7時15分に家を出る

13

〇〇君の約束

■宿題プリント1枚

■帰ってきたら「ただいま」と言う

ごほうびを選ぶポイントは？

得点設定のポイントは？



	宿題プリント1枚	「ただいま」
月	〇	〇
火	〇	〇
水	〇	〇
木	△	〇
金	〇	〇
土	△	〇
日	〇	〇

さじ加減

〇が		ねがいごと
11～14	→	3こ
8～10	→	2こ
5～ 7	→	1こ
0～ 4	→	0こ

14

ポイント3　「トークン」を選ぶことについて

願い事のご褒美（トークン）は、普段家族が日常的に使用しているものにする。豪華すぎるものは控えましょう。

・子どもが大好きなお菓子
・週末に行くコンビニ、マクドナルド
・家族で公園にお出かけする　など

ただし、行動契約書やチャレンジ日記が10枚たまったら、スペシャルなご褒美を用意したりするのは、特別感があり効果的です。

・日曜日に外食の店を選べる権利をゲットできる
・クラスで、〇〇パーティーを開催する　等

15

ポイント3　「トークン」の例

家庭内での活動

・ゲームをする　・ジグソーパズルをする
・特別な料理を作る　・寝る前の絵本タイムを増やす

家族での外出

・ピザを食べに行く　・公園でピクニックをする
・汽車を見に行く　・映画を見に行く

特別な報酬

・夕食のメニューを選ぶ　・お手伝いなしの日のチケット
・お金をもらえる　・趣味の素材をもらえる

【推薦図書】親子の関係をもっとよくする「行動契約」
ジル・C・ダーディグ、ウィリアム・L・ヒューワード（著）（2025） 明石書店

16

演習2　クラスの児童生徒1人を思い出して子どもが喜ぶ「ご褒美（トークン）」を書き出してみましょう。

「トークン」について

願い事のご褒美（トークン）は、普段家族が日常的に使用しているものにする。豪華すぎるものは控えましょう。

①	②
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧

17

演習3　担当している児童生徒1人を想定して行動契約書を作成してみましょう。

シート1、シート2の順番で、
行動契約書を作成してください。

シート2までできたら、シート2の
ポイント表も作成してみてください。

18

シート1　〇〇さんの約束（行動契約書）

■
■

月		
火		
水		
木		
金		
土		
日		

〇が		ねがいごと
11～14	→	3こ
8～10	→	2こ
5～ 7	→	1こ
0～ 4	→	0こ

19

シート2　行　動　契　約　書

〇目標:「　　」
〇期間:　　月　日（　）～ 月　日（　）
〇チェックする人　:
〇できたとき　　:　　ポイント

〇できなかったとき:　　ポイント
＊ポイントを取り返す方法は、

〇ごほうび:

署名

20

参考事例:　不登校生徒の「登校頑張り表」

〇月〇日～〇月〇日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
登校					
1時間目					
2時間目					
3時間目					
4時間目					
5時間目					
6時間目					
下校					

今週の目標＿＿点以上　→　特急を見に行こう　合計＿＿点

【推薦図書】「特別支援教育を支える行動コンサルテーション」
加藤哲文・大石幸二（著）（2004）学苑社

21

21

参考事例:　自己観察記録→自己評価→自己強化

生徒の名前:国府太朗　　日付:5月19日
ブザー音が聞こえた時に
作業をしていたら「〇」の印を書き込む
作業をしていなければ「×」の印を書き込む

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
〇	〇	×	×	〇	〇	〇	×	〇	〇

作業をしていた回数（〇の数）を数える　7回
私の目標は　8回
目標が達成できたか？:　いいえ
明日の目標は:　8回

図１　作業遂行に関する自己観察記録フォーム例

【推薦図書】「ステップ式で考えるセルフ・マネージメントの指導」
マーガレットE. キングシアーズ他（著）三田地真美（訳）（2005）学苑社

22

22

参考事例:　チャレンジ日記（37）枚目！

50枚で外食！

日にち	やったこと	どこで	しるし
5／6	牛乳パックを3つ切り取った	学校 家庭	Good

日にち	やったこと	どこで	しるし
5／7	なわとびを30回しました	学校 家庭	Good

先生から
なわとび、30回続けて頑張っていますね！！

お家から
牛乳パックを切り取ってくれて助かりました！ありがとう！

【推薦図書】「思いっきり 支援ツール」
武蔵博文・高畑庄蔵（著）（2006）エンパワメント研究所

23

23

「行動契約法」について学べましたか？

- 児童生徒が自分の思い通りにならない時に
- 泣いたり、他害をすることなく、
- 望ましい適切な行動を実行するために、
- 行動契約法の基本を学ぶ

例えば
- ■ 行動契約書の様式について
- ■ 目標を達成するために「さじ加減」
- ■ スモールステップで進めるための「コツ」

24

24

令和8年度専門性向上研修計画:10月7日時点

目的

・演習を中心とし、すべての職員の基礎的な実践力の底上げに資する
・OJTの考え方に依拠し、研修そのものが通常業務を兼ねる
・本校職員が講師を務め、研究と修養、校内相談体制が日常化する仕掛けづくりに寄与すること

研修計画

	時期	主な内容	担当課	講師候補
第1回	5月19日 火曜日	【問題行動を防ぐための基礎知識】 ・事例から学ぶ他害防止:20分 →講師:山本課長(進路指導課長) ・機能分析:45分 →講師:白桃小学部長 ・行動契約法:45分 →講師:田中校長	ダイバー進路	田中校長 山本課長(進路指導課長) 白桃学部長
第2回	6月12日 金曜日	【予防的生徒指導の基礎理解】 ・圧のコントロール(ワーク) ・教師のあり方(ワーク) ・日常生活で活かすポジティブ行動支援(ワーク)	人権生徒指導	樋口教頭
第3回	7月10日 金曜日	【各学部での専門性向上】 ・小学部　自立活動(ケース会) ・中学部　(ケース会) ・高等部　(ケース会) ・寄宿舎(夏季休業中に実施)	ダイバー	楠課長(マナアカ1期生) ダイバー課員
第4回	9月2日 火曜日	【個別の指導計画の作成力UP】 ・アセスメント(SM・ワーク) ・行動観察(ワーク) ・抽象具体分析(ワーク) ・課題分析(ワーク) ・記録用紙の作成(ワーク)	ダイバー 教務	楠課長(マナアカ1期生) 住友教諭(巡回相談員) 近藤教諭(マナアカ2期生)
第5回	10月7日 水曜日	【教育課程の基礎理解】 ・学習指導要領と教科教育(講義) ・本校教育課程の理解(ワーク) ・年間計画作成(ワーク) 一生活単元学習、自立活動	教務 ダイバー	多田課長 教務課員 楠課長(マナアカ1期生)

〇実施方法
・会場はランチルームを使用。ランチルームの半分程度を使用予定。
→座席によって、正面のプロジェクターが見えないこともある。正面のプロジェクター以外に大型テレビを各所に設置。
ビデオ又はiPadで撮影し、ZOOM配信(音声切断)する。(別紙:会場図参照)

・受付は学部毎に3カ所設置します。
→小:ランチルーム小学部エントランス前入り口、中:ランチルームトイレ前入り口、高・寄宿:校長室前入り口

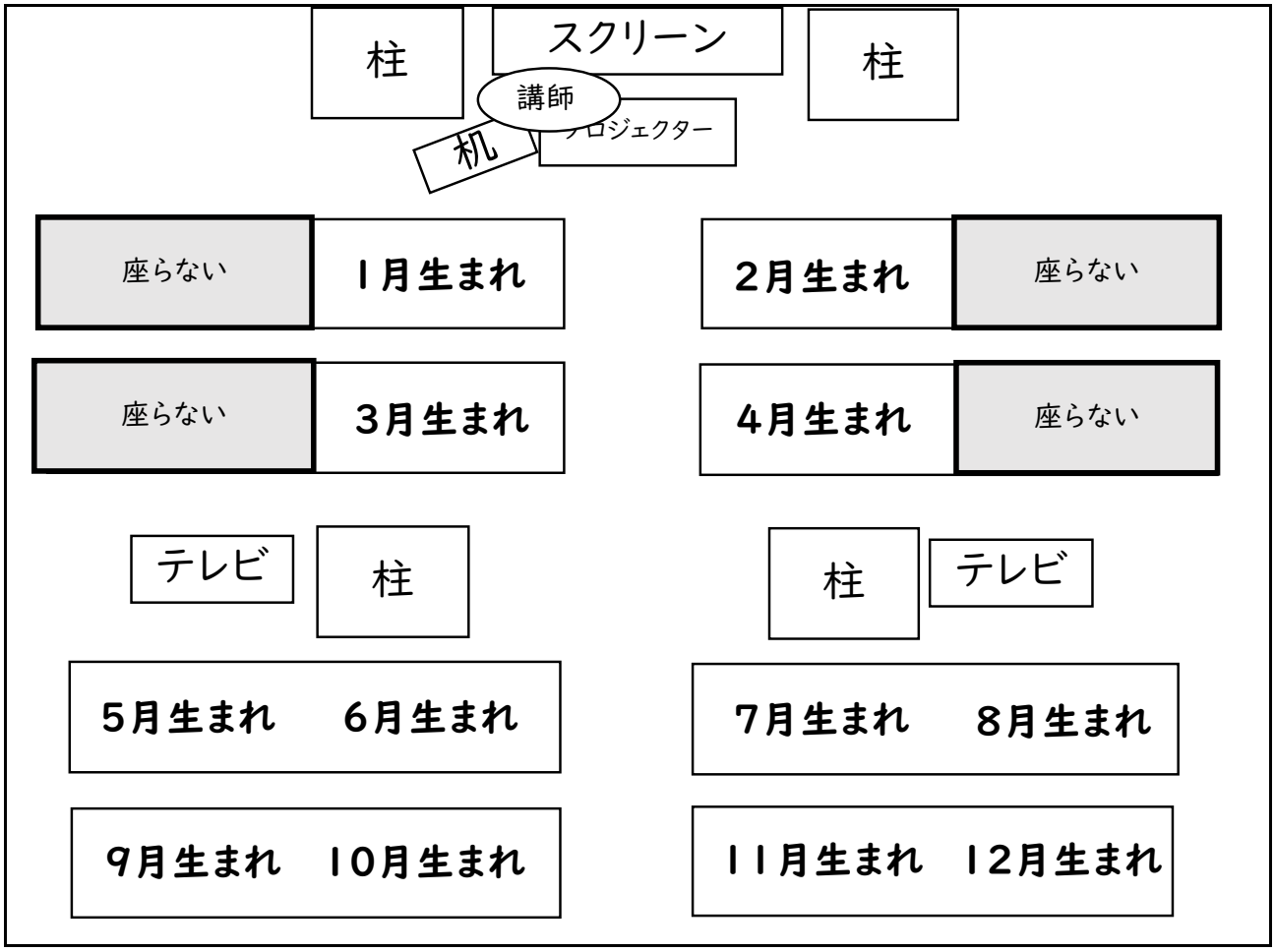
・配布資料は外部サーバにアップする。紙媒体の資料が必要な方のためにじょーるりに資料をアップする。

・演習に必要な資料は紙媒体で印刷する。

・研修時間→120分(14:00～16:00 休憩含む)。児童生徒下校時間13:30のため。
→ランチルームの使用は通常なら15:00以降のため、悉皆研修日に限定して、使用許可を食堂より得たい。

・研修参加者数:120～140名前後。

会場図：ランチルーム(後方半分)





○準備物→【ダイバーシティ推進課:準備担当】
・大型テレビ×2(小学部遊戯ホールと大ホール用)、プロジェクター(小学部教材室)、
スクリーン(2階小学部7組横教材置き場)→【小学部課員】

・マイクセット(多目的教室)、HDMIケーブル×1(情報教育課棚)→【中学部課員】

・長机×3(受付用3台:1階玄関又は2階体育館連絡通路)、三脚(職員室入り口横ダイバーシ
ティ推進課ロッカー)、ドラムリール(ダイバーシティ推進課ロッカー)→【高等部課員】

・職員名簿、演習用配布資料→【楠・住友・吉田】

・パソコン→【久米】

国府支援学校「悉皆研修」について





国府支援学校「悉皆研修」について



